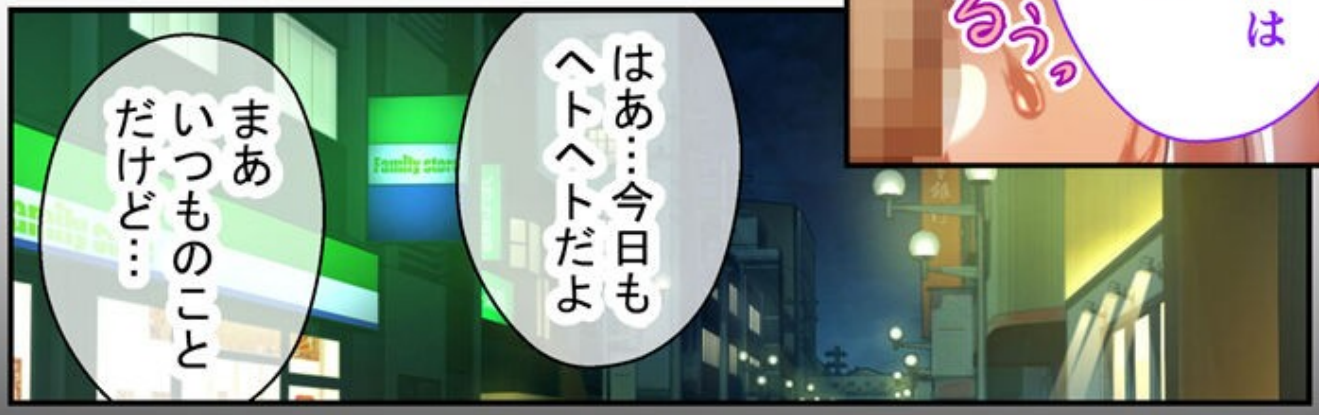
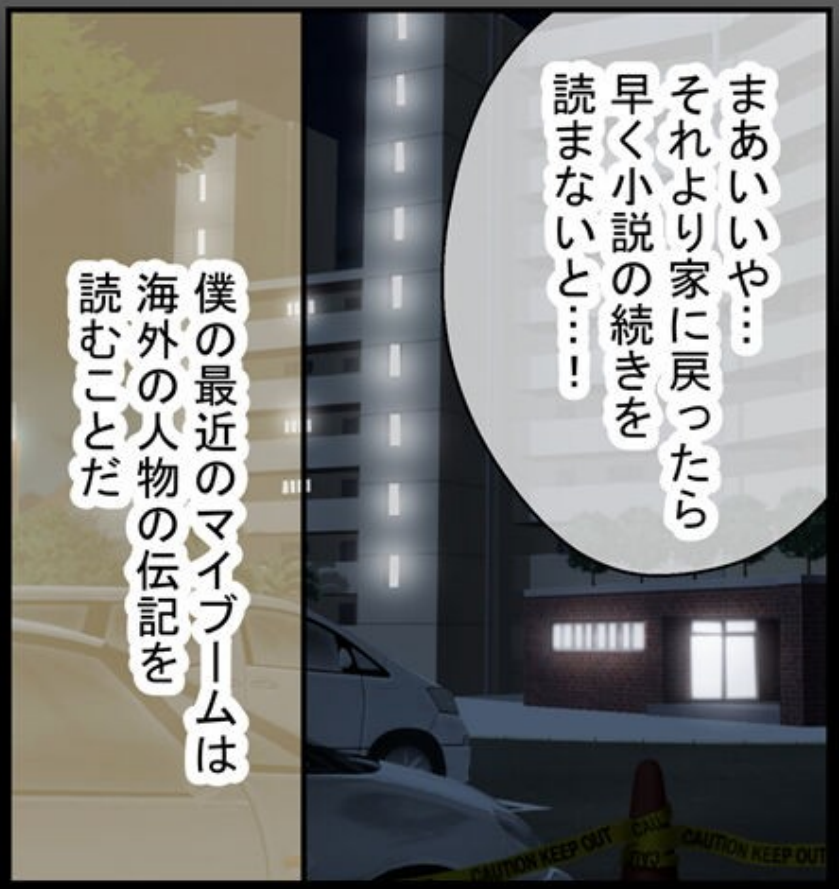
モザイクコミック総集編
褐色女王降臨！
服従まぐわい伝記2
転生ツンデレ娘のぬるぬるオーイでマッサージ発情中
クレオパトラが我が家に転生―!!
エロ過ぎ命令が下されて!?

薄闇の中で
ピチャピチャと静かな
水音が響いていた
どうして
こんなことに
なったんだろう
そんなことを
考えながら…
ぎゅ
これは報酬の
前渡しのようなもの
じゃからな
ぎゅっ
ビュビュッ
そなたは身を
任せていれば
いいぞよ
そなたの
熱い精を全て…
ぢゅぶっ、飲み干して
やるぞよ
さあ…
出すのじゃ！
ぢゅるるっ
ゴクッ
ふふ…こってりと
喉に絡みつくような
精じゃった
この国の男
気に入ったぞ♪
では、もっと出して
もらうとするか…

よいか、そなたは
わらわの新たな
召使い
そして召使いは
主に奉仕
するものじゃ
ぢゅるっ

この子種袋が
空っぽになるまで
わらわを
愉しませるがよい♪
クス
クス
どうして
こんなことに
なったんだろう
僕は普通に家に
帰ってきてー


はあ…今日も
ヘトヘトだよ
まあ
いつものこと
だけど…


まあいいや…
それより家に戻ったら
早く小説の続きを
読まないと…！
僕の最近のマイブームは
海外の人物の伝記を
読むことだ

本当だったら有給を
使って、どっぷり
小説世界に
浸りたいぐらいだ…
ゴソ…
ガチャ…
あれ…？
なんだか物音が
するような…

マンションは単身者向け
恋人はおろか家族
だっていないはずなのに——

ドクン

あの…
どなたですか…？

一人暮らしのはずの
我が家に…
エキゾチックな美女がいた

……えっ？
すみません…今なんと仰いました…？

だから
クレオパトラと
言っておろうが！

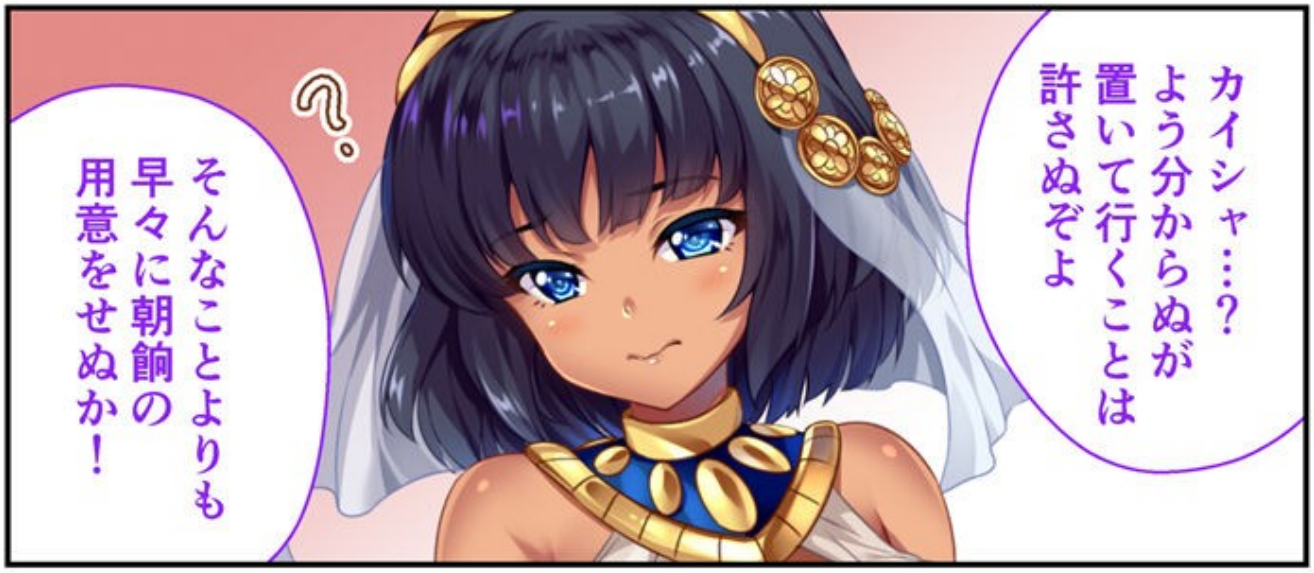
プトレマイオス王朝の
クレオパトラ7世と
言っても分からんのか!?

プトレマイオス王朝
それも7世と言われては
間違いなく…あの
クレオパトラのことだ

本来であれば女王陛下と呼ばせるところじゃが…
面倒なのも好みではないからパトラと呼ぶことを許可してやるぞよ
あ、ありがとうございます…
そのパトラ…様？
よしよし無礼な男かと思ったが　分を弁えているようじゃなでは…この世界の話を詳しく聞かせてもらおうかの
彼女は再び栄華を築くため、死の寸前に転生の秘薬を飲んだそうだ
しかし分量を間違えたらしくての…
コブラと秘薬を飲み干した後気がついたらここにおったのじゃ
この豚小屋のように狭苦しい部屋にな！

しかし宮殿とまではいかぬが…作りはなかなか悪くないかもしれん
なによりもこの国この時代のことを色々と調べることが先決じゃからな
…えっ？
ま、待ってください！
それって、この家に住むってことじゃ…
当然のことじゃ
代わりに、そなたをわらわの召使い第1号にしてやろう
かの皇帝カエサルの心を奪ったわらわに尽くせるのだからそなたも幸せじゃろう♪
わ…わかりましたあの、その…しばらく居てやってください…
よしよしそなたは本当に素直じゃ♪
そんな素直に召し使いには、少し褒美をくれてやるとするか♪
えっ？
うわぁぁ…!?
ちゅぱ♥

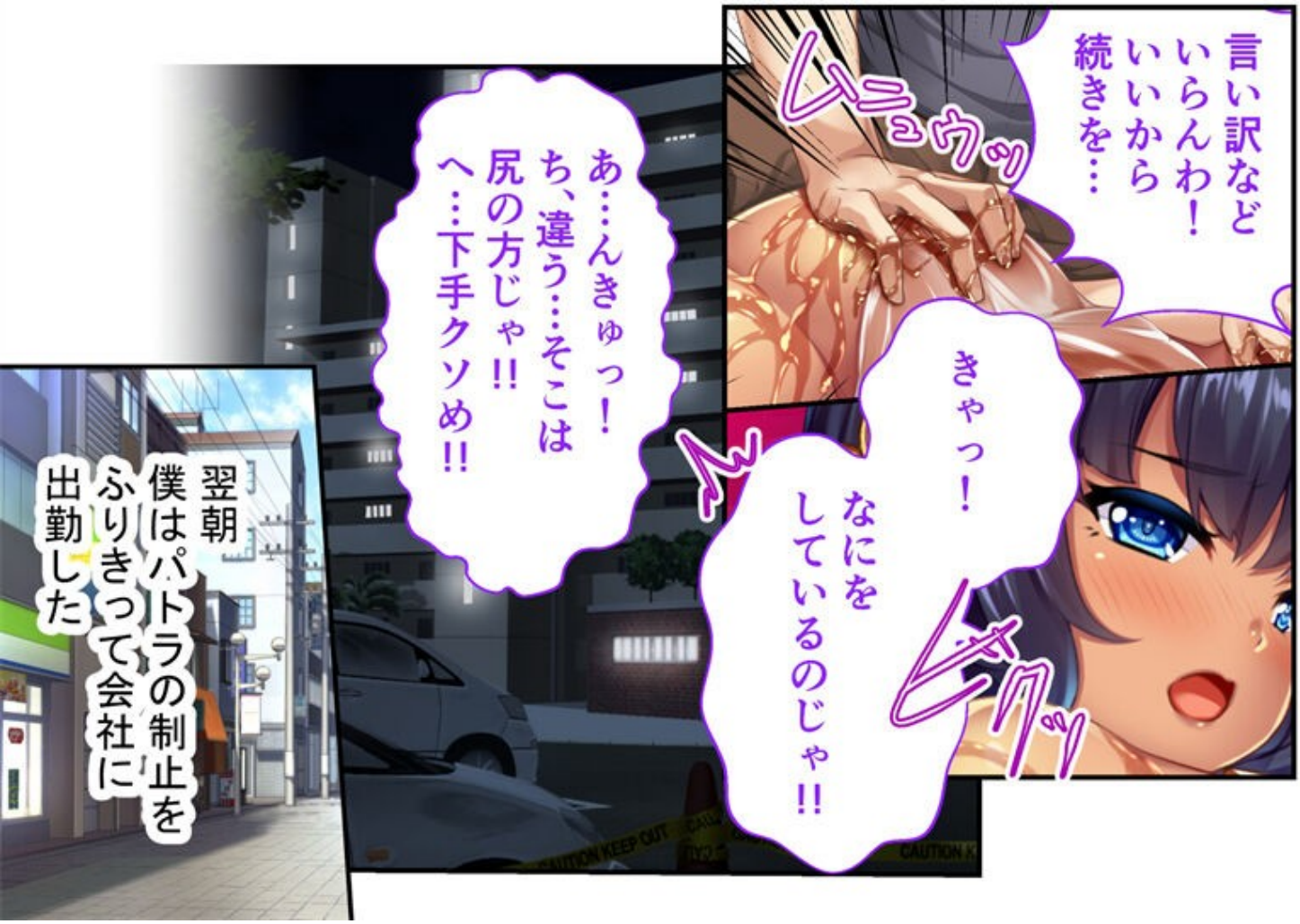
朝……
ア…アレって
夢じゃなかった
のか…？
なにを
ボーっとして
おるのじゃ
主人が
起きたのだから
さっさと湯浴みの
用意をせんか


カイシャ…？
よう分からぬが
置いて行くことは
許さぬぞよ
そんなことよりも
早々に朝餉の
用意をせぬか！

それでは、この国を
見て回るとするぞ
そなた、わらわを
案内せい

…結局、僕は強引に
会社の休みをとらされ
外を案内させられた
ムニュッ
くうっ！
ば、馬鹿者っ！

いきなり敏感なところを触るでない！
帰宅後にはこのとおりマッサージをしろと命令された
それでわらわを満足させられるとでも思っておるのか！
ううっ、だってマッサージなんかしたことないし…
キッ
レニニ
レニニ


言い訳などいらんわ！いいから続きを…
レニュウッ
きゃっ！
なにをしているのじゃ!!
レクッ
あ…んきゅっ！ち、違う…そこは尻の方じゃ!!へ…下手クソめ!!
翌朝僕はパトラの制止をふりきって会社に出勤した
CAUTION KEEP OUT

すっかり日も落ちてから僕は自宅のドアを開けた
ハァ
ハァ
あはぁっ
なんじゃ…
もう帰ってきたのか？
どうせ…
遅くなるのだろうと思ってのう…
久々にひとりで…
おおっ、手慰みをと…
くひぃんっ♪
ドクン
ギュプー
ちょっ…!?
一体
なにして…!?
なんじゃ？
わらわがするのは…
ふ、不思議か…の？
これは単なる
暇つぶし
些細な余興よ…
んんっ♪
香油を身体に振りかけて
ぬるぬるになった身体を
まさぐりながら、パトラは
艶然と笑った
ドクン
なんじゃあ？
そんなに
ファルスを
堅くしおって

ほれ、近づいてもよいのじゃぞそしてわらわのヴァルヴァ…
ちゃく
女陰(ホト)が奏でる調べでその劣情を解放するがいい
ニュチ…
ぐちゅっ
…おっと言い忘れておったが決して触れてはならぬぞ？
分かってるけど…こんなところ見せつけられたら…
よいか、決して己を慰めようとするでないぞ？
それが出来ればわらわが恩情を掛けてやろう…っ！
そっ、そんなっ!?自分で触るのもダメなんて…
クス
くははは！ダメじゃっ！そなたに触らせてたまるものか！
コリッ
ぐちゅっ
ムニ…
そもそもそなたが…こんな時間までわらわを放っておくから…

その言葉でハッとした
彼女が何故オ●ニーなんかしていたのか
ごめんって……
でも、流石に
そう何度も会社を
休めないよ…っ
コリッ
ムニュ
そなたには
たっぷりとわらわの
怒りを思い知らせて
やるのじゃ♪
これはちょっと
した罰じゃ
主人たるわらわを
軽々しく
扱ったことに
対しての…な？
ニチャ
ニチャ
ぢゅぽ
ほほ♪　そう睨む
ものではないぞよ
罰とはいえ
ある意味で役得
クリッ
さあ…
もっと近くで
見るがいい
その恨み
がましい
目が堪らん…！
ハァ
わらわの熱い露を
浴びながら、犬のように
鼻を鳴らすがよいぞ♪
ハァ

そうじゃ、その視線を
わらわの女陰に…っ
睨み付けるのじゃあっ!!
あひっ
果てる…
果てるっ!!
ビクッ
プシャッ
ビリビリ
ビリビリ
く…っ
くううんっっ!!
ビクッ
くくっ♪ どうやら
心ここにあらずと
いう様子じゃの
わらわも多少は
楽しませてもらった
ことじゃから
少しは情けを
くれてやっても
いいぞよ?
ハアハア
な、情けって…
いいよ
そんなの…

ふふふっ！
それで良いのか？
そなたのソコは
なんと言っている？
本当はわらわの
情けを受けて
心地良く精を解き放ち
たいのじゃろう？
くうっ！
すっ、すごい…
これ、すごいよ…!!
ぱ、パイ●リが
こんなにいいなんて
思っても…
ほほう
『パイ●リ』と
言うのじゃな
なかなか
扇情的な
言い回し
ではないか♪
ムチュッ
ムチュッ
たぽんっ

ふわわわっ!?
そ、そんなこと
されたら…うぐっ
出ちゃうって…!
なんじゃ
もう出るのか?
一度出したらそれで
おしまいじゃぞ
もっと
愉しみたければ
死ぬ気で
我慢するのじゃ
ムニュ
ムギュ
ドクン
そう言われては
我慢するしかない
僕はぎゅっと唇を噛むと
込み上げる衝動を
必死に抑え込む
ドクン

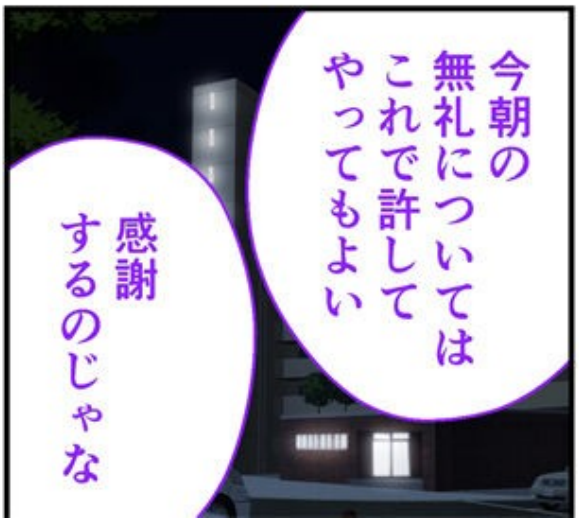
そう
それでよいのじゃ
わらわは男が我慢
するのが好きでのう
こうして…んんっ♪
パクパクしている
ファルスの先を…
ちゅうっ♪
れる。
ギュプ
言うが早いか、パトラは
筒状にした舌を鈴口に
押し込んでくる
れる。
ギュウッ
うわっ
うわあああっ!!
さ、先っぽは
ダメだって!

先っぽとは可愛い物言いじゃのう♪ほれ、先っぽをもっと攻めてやるぞ
ほおれ、この可愛らしい穴に…舌をねじ込んでやろうっ
れちゅっ
チロッ
あぐっ！そっ、それ…っそれダメ…ダメだって…おおっ！
出したいのじゃな？だがダメじゃわらわが満足するまで出すことは許さぬぞ
わらわの高貴な身体を穢すことは許さぬぞ♪
んぐっ
んむ
んっ♡
うっ、ぐぐぐ…っむ、無理だよ…パトラのおっぱい気持ち良すぎて…
もし許しもなく出そうものなら二度と情けはくれてやらぬ
射●の許可はわらわが出すそれまでは死ぬ気で耐えてみよ
ムチッ
ムチッ
うっ、うぐっ出ちゃう…このサドっ！

さど…？
なんぞよう分からぬが
わらわは自分が
楽しければ良いのじゃ
特にそなたのように
軟弱な男が苦しむ様は
見ているだけで…
女陰が熱くなるぞ♪
くうんっ、んん…っ
改めて自覚すると…
わらわも濡れてきて
しまうぞ
本当にそなたは
わらわの興奮を…
ちゅるるっ
掻き立ててくれるわ
たぷっ
たぷっ
あぐっ、うう…っ
も…もう、本当に…
あうう…っ
ふふふ…
そろそろ限界も
限界といった
ところじゃのう？
よかろう、射●する
ことを許可して
やってもよいぞ♪
クスッ
ほ、ほんとに…？
ほんとに出して
いいの…？

わらわに二言はないぞ
さあ、思い切り射●するがよいっ
ズビュッ♥
くううんっ♪
なんというオスの香りじゃ
ビュビュッ

ぢゅるるるっ!!
んっ、はあ…っ
相変わらず濃い精じゃの
ん…


今朝の無礼についてはこれで許してやってもよい
感謝するのじゃな

パトラが僕の前に現れてから一週間が経った

『ぱそこん』という機械は本当に面白いのう

全世界のことを調べられるとは実に素晴らしい発明じゃな

確かにすごいよね昔はどういう感じだったの？

わらわの頃か？国内のことですら知らぬことがあったぐらいじゃぞ

ましてや異国のことなど書物や旅人からの伝聞程度じゃったな

クレオパトラってかなりの策謀家だったらしいけど…

カエサルの後ろ盾で彼女は弟王との対立を優位に進め女王として君臨した……

カエサル暗殺後は
後継者争いをしていた
アントニウスに後ろ盾を
求めたんだ
ドクン
でもアントニウスは
オクタビアヌスに
敗れ…
ドクン
アントニウスは
クレオパトラが
裏切ったと絶望し
自殺を図る
そして瀕死の彼は
愛する
クレオパトラの前で
息を引き取った…
アヤト！
おいアヤト！
なにをボーーっと
しておるのじゃ！
ドキッ
えっ!?　あ…っ
ご、ゴメンゴメン
ちょっと
考えごとしてて…

それよりさ
今日は
なにか食べたい
ものってある？
けど不思議だな　正直
得体の知れない状況で
酷い扱いされてるのに
パトラが喜んでると
なんて言うかな…
気分が良くなって
くるんだよな……

…ほほう　そなたの
豚小屋と違って
なかなか広い
ではないか
広い風呂に入りたい
というパトラの要望を
叶えるため、僕はパトラを
ラブホテルに連れてきた
『らぶほ』なる場所に
案内してくれた褒美を
くれてやろう

さあ、そこに身体を
横たえるのじゃ
褒美として、わらわが
マッサージしてやるぞよ
うっ、うわわわ…っ
あ、あのっ、これは
マッサージじゃない
気が…
レイプ
ほほほ、ただの
マッサージでは
面白くないからのう
キュッ
それでは特別
マッサージを
始めてやるぞよ♪
ペロッ
ギュプ
え…!?
パ…パトラっ
それって…
ああっ!!

んっ、はぷうっ♪
この汁、これは
先走り汁と
いう名じゃったな
この苦い汁は
わらわも好き
じゃから…もっと
絞り出すのじゃ！
ピチャ
ぢゅぷっ
ピチャ
うわっ！
そっ、そんな
されたら…
出ちゃうって！
レロッ
れろっ
ビュビュッ
ほほほ、精…
そうそう
ザー●ン
じゃったな♪
熱いザー●ンが
出ちゃうとでも
言うのか？ いいぞ
存分に出すがよい！
ビュビュッ♪

あはぁ…♪
なんという
匂いじゃ…
ハァ
ハァ…
こんな匂いに
包まれたら
わらわも果てて
しまいそうじゃ…っ♪

数日後
…ふふっ
あの辛口な
パトラでも
これには
文句つけられない
だろうな
今日も出勤時に駄々を
こねられてしまったが
このお土産のスイーツを
見せれば、きっとパトラも
許してくれるだろう
ガチャ

僕は二人でスイーツを
頬張る様を
思い浮かべながら
部屋に飛び込んだが…
ペチャ
くふふっ、もっと
堅くするのじゃ
ピチャ
もっともっと
ファルスを
滾らせるのじゃ！
ギュプ

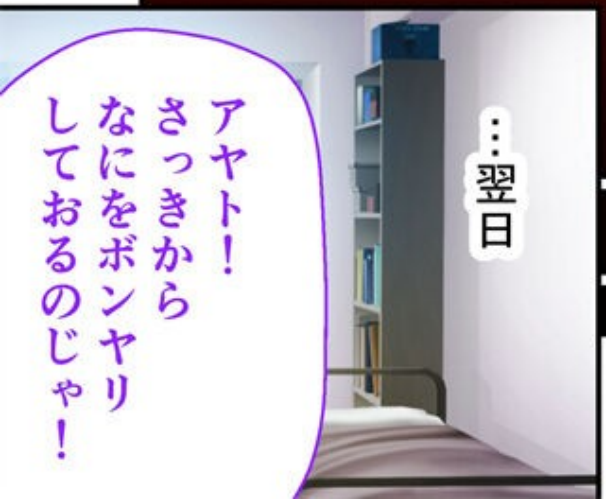
おっ、おほっ♪
マジでエロい
姉ちゃんだな
ぢゅぽっ
ぢゅぽ
れろ
れろ
シコ
シコ
レニュ
まあ待つのじゃ
ちゅっ、ちゅうっ♪
順番にフ●ラ
してやるからのう
しっかしよー
いきなり声
かけてきて
ビックリしたわ
それもなんかエロい
格好したヤツじゃん
マジ、なんかの
罠だと思ったね
あまりの出来事が
凍り付いていた
僕に気付いたのか
パトラが視線を向けてきた
クスッ

なんじゃ、もう
帰ってきたのか？
くふふっ、そこで
待っておるがいい
このファルスを
存分に楽しむまでは
…な？
はむっ
いいんすか？
この兄ちゃん
おねーさんの恋人
とかじゃねーの？

これはただの召使いじゃそなたらは気にせずわらわを愉しませるがよいぞ♪
はぷっ
この汁がたまらん啜っていると昔のことを思い出してしまうわ
ジュ
ぢゅぷっ
れろっ
ジュ
一体なにが起きているのか理解が追いつかない
頭が…胸が痛い…もうこんなところにいたくない…!!
なんじゃアヤト？そなたも待っておるのじゃ後でそなたにも…
ぢゅぷっ
い…いいよ僕はそんなもの…いらない
ぢゅぷっ
なんじゃと？召使いの分際で生意気なことを言うではないか
そなたら、この痴れ者のことは気にするでないぞ見せつけてやるのじゃ
ぢゅぽ
ぢゅるるっ
ぢゅぽ
ぢゅるるっ
へへへっ分かってるって

なんなんだよこれ
どうしてあんなこと出来るんだよ…！！

…翌日



まさか昨夜のことまだ根に持っておるのではないか？

まあ……昔の人間って性に大らかって書いてあったしな…

僕がいちいち気にしても仕方ないか…

そなたが言いたいことは分かるぞよ

クスクス

わらわが性に奔放すぎると言いたいのじゃろう？

気にするな　あの程度ちょっとした余興にすぎぬそれに本番とやらをしたわけではあるまい？

さあ食事の支度をするがよいぞ

それから数日後

この日、僕が会社を出てマンションに辿り着いたのは深夜1時を回った頃だった

CAUTION KEEP OUT

こんな時間まで一体なにをやっておったのじゃーー!!

迷惑をかけては
良くないと
遠慮していたが
無駄じゃったな！
こんなことなら
わらわの好きにして
いればよかったわ!!
フゥ
えっ!?
そ、それって
この前みたいな…
ドクン
満足に召使いも
出来ぬ輩が
一丁前に嫉妬心か!?
貴様などに気を遣わず
新たな召使いを探した方が
有意義じゃったわ！

だ…だったら
そうすれば
いいじゃないか!!
僕だって大変なんだ！
キミみたいな
ワガママ女に
押しかけられて!!
無断で高価な
ベッドまで
注文されてさ!!
な…っ
なななな…
カキン
なんじゃと…!?

好きにすればいいよ！
だけど僕の家からは
出て行ってくれないか!?

どこかで新しい男を
たらしこんで
好きなだけ女王様
ゴッコすればいいさ!!

……

…そうか、よう
わかったわ
そなたがわらわを
どう見ていたかが…

パトラは…そのまま
部屋を飛び出して
いってしまった

ガチャッ

な…
なんだよ

なんで
あんな…

哀しそうな
顔するんだよ…

ガッ！

…謝らないと
パトラに
謝らないと…!!

…こんなところにいたんだ
…ほら、家に戻ろうよ
ボン！
…いのじゃ

え…っ？なんだい、パト…
遅いのじゃっ!!

ごっ、ゴメン!!僕も本当に悪いと思ってるんだよ!?
主が飛び出して行ったのだから即座に追いかけるのが筋じゃろうがっ!!
…パトラは僕が追いかけてくるのを待ってた…わけ？

ふ…ふんっ！
そなたは召使い
なのだから当たり前
ではないかっ！
その…わらわは
まだまだこの時代に
不慣れじゃから…
ゴミクズのような
出来損ない召使いにでも
頼るしかないと言うか…
フン
なんだか酷い物言いだったが
それでも僕を頼りにしてくれているらしい
そなたこそ
なぜわらわを
追いかけてきた
のじゃ？
罪悪感だけでは
あるまい!?
そっ、それは…
ふん、わかって
おるぞ

わらわが去ってしまっては下らん日常に戻ってしまう

そうじゃ、だからそなたは追ってきたのじゃ

今後はわらわに
逆らうことは許さぬ
わらわにかしずき
忠誠を誓うのじゃ
ははーーーっ!!
仰せに従います
女王様…!!
よかろう
召使いに
復職させてやる

そ…そうじゃ!
わらわは腹が減って
しまったぞよ!
なんとかせい!
ははっ! それでは
女王様がお望みの
ものをご用意い
たしましょう!
わらわは
はんばーがー
というものを食べて
みたいぞ!

…あの一件以来
僕は完全に
パトラの尻に
敷かれていた

しかし…
僕はこれで
良かったと
安堵していた

もしあのまま
別れていたら
きっと後悔して
いたに違いない

なによりも
パトラと暮らすうちに
彼女がいない生活に
耐えられなくなっていた

振り回されるのも
悪くないというか
奉仕の心甲斐が
あるというか…

もちろん、カチンと
来る時もある

それでも彼女が見せて
くれる笑顔、お褒めの
言葉が嬉しかった

くううっ！
女の子の
お尻ってこんなに
柔らかいんだ…!!
モミ…
ムニッ…
ぴくん♡
はあ…ああんっ
アヤトぉ…わらわの
尻ばかり触って
どういうつもりじゃ？
このお尻で
射●したい…！

も…もういいよね？
これだけお尻を
揉んでも大丈夫なんだから
一番エッチな
ところに触っても…!?
イラッ
…おっと
そこまでじゃ!!
すくっ
たまには好きにさせて
やろうと思うたが
さすがに調子に
乗りすぎじゃな

主への奉仕を忘れて
ファルスを堅く
するのは許せぬな

くくっ、ここは
お仕置きをしてやる
必要があるようじゃ

おっ
お仕置き…？

あ…んぐっっ!!
いっ、痛い…っ
痛いって…!!

くく…痛いか
じゃが
本当に痛いのか？
実は
気持ちいいの
ではないか？

本当は
出したいの
じゃろう？

腰をビクンビクン
震わせながら
ザー●ンをブチ撒け
気が狂うような
歓喜の顔をわらわに
見て欲しいのじゃろ？
ほれ…っ
ほれほれっ!!
あがーーーーッ!!
時々理不尽な
お仕置きをされる
こともあったが…
僕一人の生活と
比べると
僕の毎日は格段に
充実していった

数日後
僕の手にはとっておきのスイーツが入った紙袋
もちろんパトラへのお土産だ
ちょっと我が侭が過ぎるような気がするけど、もともとああいう性格だしね
ガチャ…
慣れればあんまり気にならなくなるって言うか…

ん…ぷあっ
お…おお
アヤトではないか
ムニュ
ムニュ
ムニュ
ムニュ
ムニュ
ムニュ
チィーッス！
またまた
お邪魔してるッス！！
ほれ、そなたも
胸で愉しむのじゃ
そしてわらわの
召使いに見せつけて
やるのじゃ…！
なんだよ、これ
どうしてこんなことに
なってるんだよ…

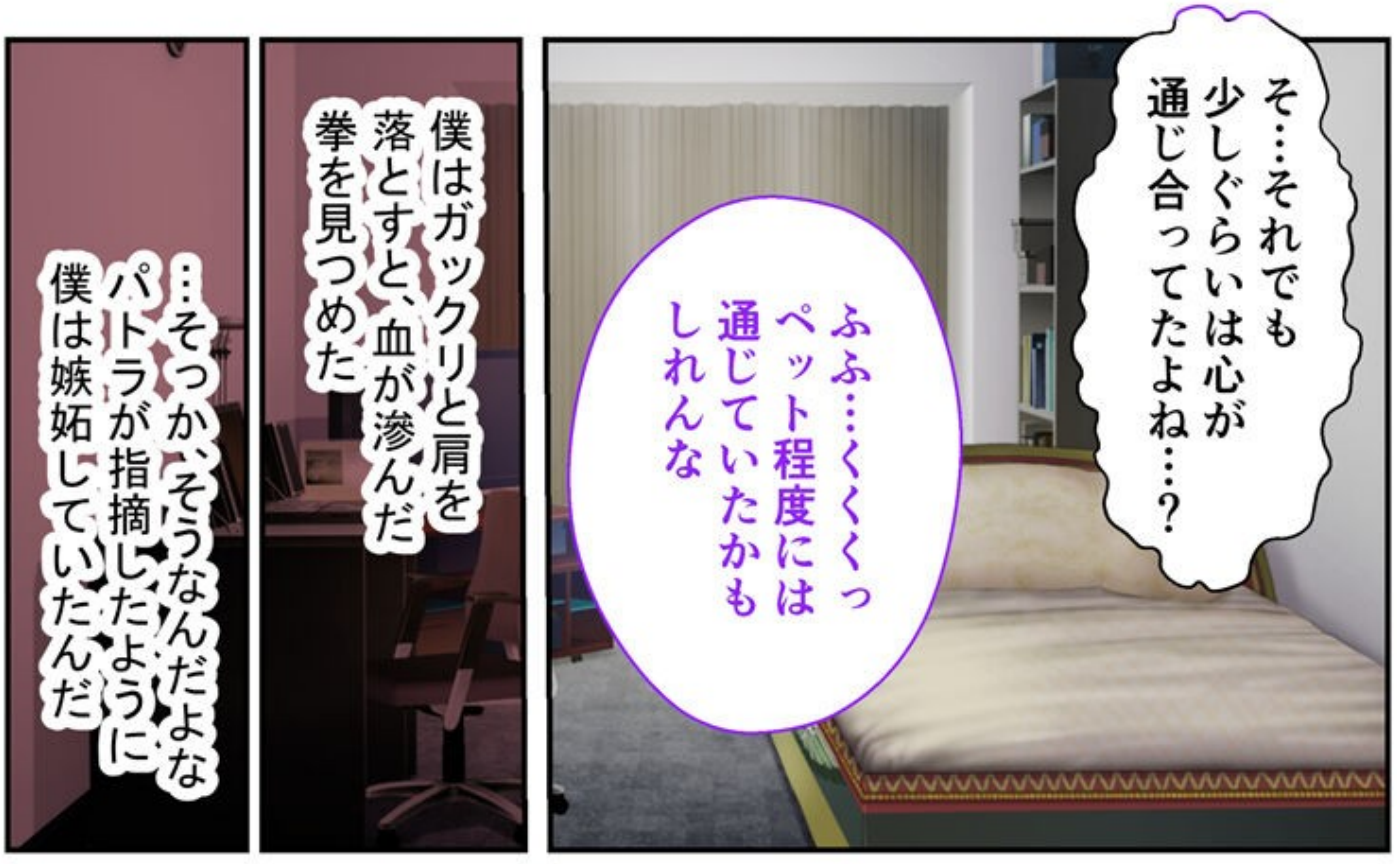
どうして…？
前にもこんなことがあったような気が…
どうじゃ
わらわを独り占めにしたくなってくるじゃろう…？
…ほほ、なにを
我慢しておるのじゃ
そなたは悔しくないのか？
わらわが下賤な者に
身体を開いている様に
怒りを覚えぬのか？
そうじゃ、その顔じゃ
わらわの全てを手に入れたいという激情
それを見たいのじゃ
さあ
そなたが奪うのじゃ
さすれば、わらわは
そなただけのモノに……
ああ…嬉しいぞよ
わらわもそなただけが欲しかったのじゃ…
…やっぱり
そうなんだ
全部
僕に見せつける
ために…！
…その後のことは
よく覚えていない

気がつくと若者たちは
姿を消してしまい、
ポカンとした顔のパトラ
だけが僕の前に立っていた
…やれやれ
そなた、怒って
おるのか？
まったく
せっかくの
愉しみをフイに
してくれおって

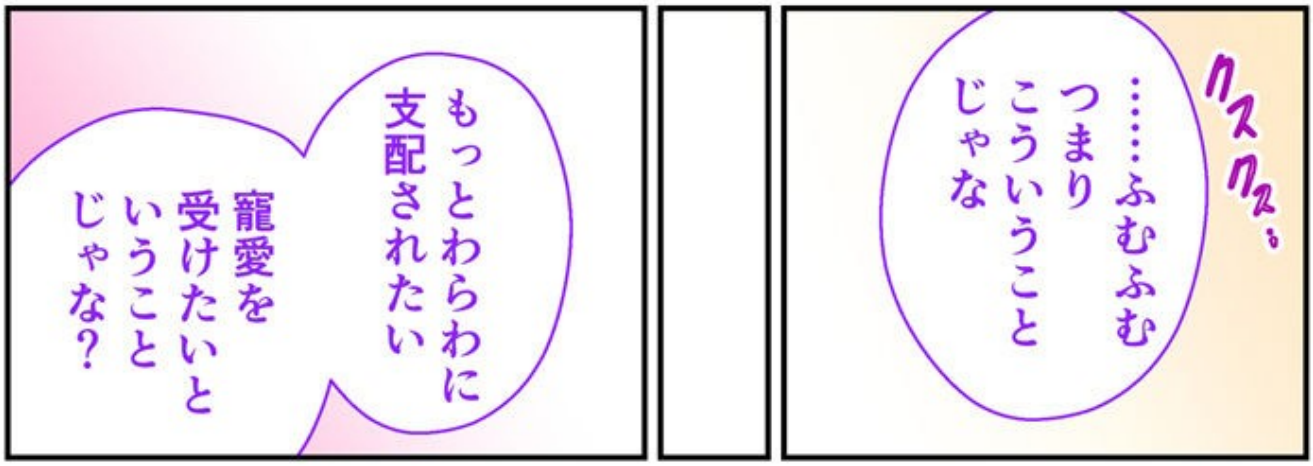
わらわのする
ことに意見
するなと何度
言ったらわかる…
…嫌なんだ
キミが他の男たちと
あんなことをするのが…
嫌なんだ

くふふっ、そうか
そなたは嫉妬して
おるのじゃな
違うっ！　すっ
少しはそういうのも
あるけど、もっと
違うことなんだ！
くくくっ
それが
全てではないか
わらわの身体を
独り占めしたかった
つまりは
そういうことか

わらわの肢体を
思うままに支配し
欲望を叩きつけたい
のじゃろう？
それともなにか？
わらわに相手して
もらえるのは自分
だけと思ったか？
そうであれば
甚だしい思い
違いじゃ
そなたはただの
暇つぶし
お手軽な玩具の
ようなものじゃ


そ…それでも
少しぐらいは心が
通じ合ってたよね…？
ふふ…くくくっ
ペット程度には
通じていたかも
しれんな
僕はガックリと肩を
落とすと、血が滲んだ
拳を見つめた
…そっか、そうなんだよな
パトラが指摘したように
僕は嫉妬していたんだ

そして彼女を独り占めしたかったんだ
…それでもやっぱり嫌だよだって僕はキミのことを…
ぼっ、僕だけを見てよパトラっ!!僕だけの女王様になって欲しいんだ!!


クスクス。
……ふむふむつまりこういうことじゃな
もっとわらわに支配されたい寵愛を受けたいということじゃな?

ふふふっ♪独占したいというのは生意気じゃが、そなたの忠誠心は嬉しいぞよ
…えっ?ま、待って待って微妙に齟齬があるような気がするよ
『僕だけの女王様』になって欲しいのじゃろ?よかろう!今後一切他の男を連れ込むことはせぬと約束してやるのじゃ

そ、それは
その…嬉しい…
です
代わりと言っては
なんだが、そなたには
これまで以上に
求めることになるぞよ
なにせそなた
ひとりで我慢するの
だから当然のこと
じゃろう？
ね…ねえ、パトラ
本当に…そのセックスしていいの…？
か、構わぬぞ
じゃがな、くれぐれも
入れる前に果てるでないぞ
ほほほ…
ぺとっ
ぐちゅっ
ずぶぶぶ
あっ、あああ…っ！
は、入っておる…っ
そなたの
ファルスがっ
わらわの中に…
わらわの
女陰にぃ…っ!!
ひぎぃっ!!
うわっ
すっ、すごい…っ！
風俗の女の子なんか
目じゃないよっ!!

んぐっ、んううう…っ！
やっ、やはり…破瓜は
辛いものじゃな…っ
ズブ
とはいえ、子を
産む辛さに
比べれば…
くううっ！
ズブ
まっ、待ってよ…っ！
それってどういうこと…!?
もしかして転生したせいで
処女に戻ったっていうの!?
ズプ
ま…まあ
そういうこと
じゃな…
じゃ、じゃが
気にする
でないぞ
わらわはそなたに
くれて
やりたかった
のじゃ
これまでの
褒美として…な
褒美って…
純潔って
もっと大切な
ものじゃないか…
僕はパトラが決して一線を
越えさせなかった理由を
ようやく察した
そしてそんな
大事なものを
僕に与えてくれた
パトラの思いも…

ありがとう…
嬉しいよ…　だから…
パトラが痛いだけなんて
痛いままなんて…!!
なんじゃ、随分と
優しいではないか
もっと獣のように…
ひぐっ、求めてくる
ものとばかり…
くううんっ
パトラが苦しむ
ところ見たくないし…
痛かったら…っ
言ってよね?
むにっ
むぎゅっ
ぐぷっ

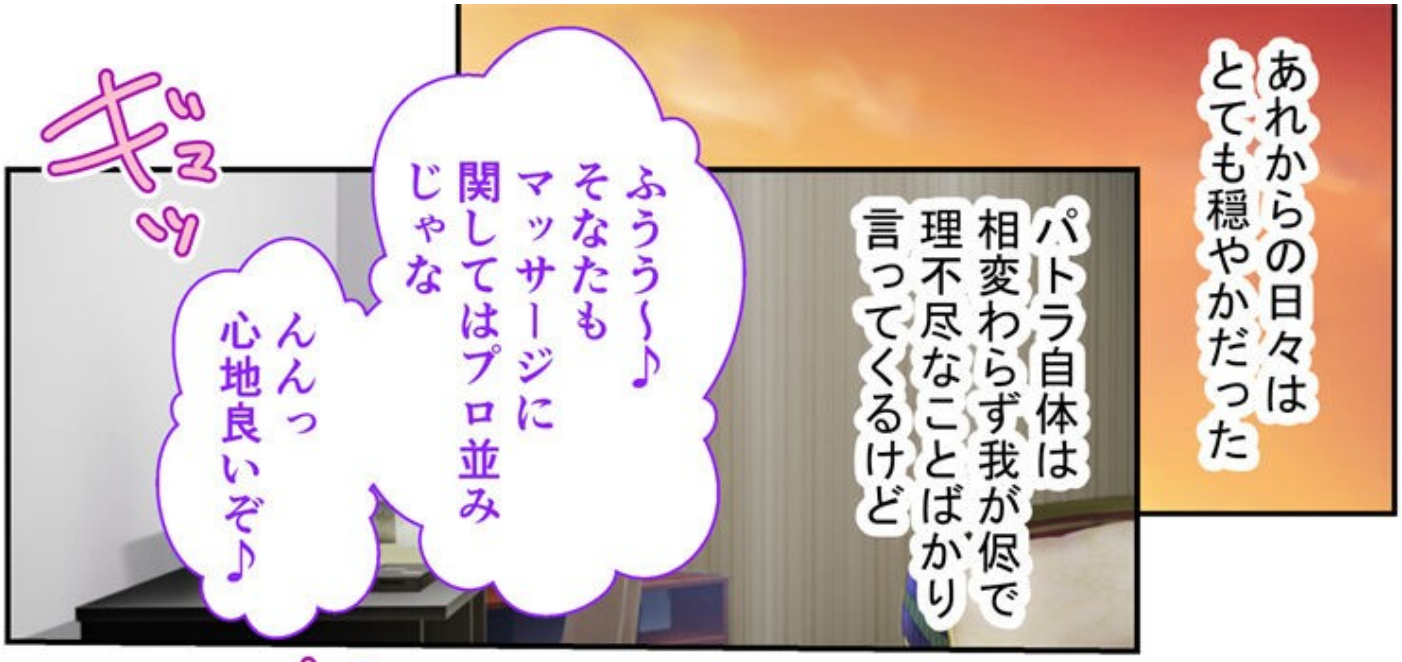
ふふふっ、そなたは
優しい男じゃな…
まるであの方の
ように…
え…?
な、なんでも
ないのじゃ
それよりも…んんっ
もう大丈夫じゃぞ
くっ…
少しぐらい
強めの方が…
早く慣れると
いうものじゃ
パトラの中がぎゅっと
締め付けてくる
ひくんっ♥

それはフ●ラともパイ●リとも異なる別次元の快感だった
ぐりっ
ぐちゅ
ぐちゅっ
おっ、おひっ
そんな…
奥までねじ込み
おってぇっ♪
わらわの女陰っ
そなたで
いっぱいに
なっておるぅっ♪
ビクッ
すごく気持ちいいよっ！
エッチなヒダヒダが
絡んできて…っ
出ちゃうっ!!
きゃひぃぃぃんっ!!
出てるっ、わらわの中に
熱いのが…っ！
ビュッビュッ
ご…ごめんっ
今度はパトラも
イカせて
あげるから…!!
ひぎぃぃぃっ!!
そんな強くぅっ
壊れる…壊れて
しまうぞよっ！

だっ、だって
止まんないんだ…っ！
パトラが悪いんだ…っ!!
ズボッ
ズボッ
ギュプ
ギュプ
こ…この
馬鹿者ぉ♪
そんなにわらわが
欲しいかっ
だ、だったら…
わらわを
果てさせる
のじゃあっ!!
はっ♡
ハァ♡
わかってるよっ
パトラを
イカせてやる…っ!!
ああんっ
嬉しいことを
言いおってぇ…♪
ハァ♡
ハァ♡
ヌブッ
ギュプ
ガチガチの
熱いファルスで
わらわをイカせる
のじゃあっ♪

わっ、わらわの奥ぅ…
大事な子袋が突き上げられておるぅ♪
そこっ、そこが一番気持ちいいのじゃっ!!
そ、そっか、パトラは子●口がいいんだね！
ポル●オが好きなんだっ!!
ぽる●お…っ？
そうじゃ、ぽる●お大好きなのじゃあっ!!
もっともっとぉっ！
ぽる●おして欲しいのじゃあっ!!
僕も…くううんっ気持ちいいよぉ!!
そうか…っ、それは…
あひんっ、わらわも嬉しいぞよ…♪

だ…だったら、わらわと一緒に…んくうっ 一緒にイクのじゃ…っ!!
うんっ、うん…っ! パトラと一緒に…イクよぉっ!!
ぐちゅぐちゅっ
ビクッ
ビュッ
召使いのっ ご奉仕用ファルスで… イクぅぅぅっ!! イっくぅぅぅぅっーー!!
ビュッ
ああああっ!! イク…っ わらわもイクぅっ!!
ビクッ


あれからの日々は
とても穏やかだった
パトラ自体は
相変わらず我が侭で
理不尽なことばかり
言ってくるけど
ギッ
ふうう～♪
そなたも
マッサージに
関してはプロ並み
じゃな
んんっ
心地良いぞ♪

ギッ
えへへっ、嬉しいな
そんなこと
言われるともっと
頑張りたくなるよ
ふふふっ♪　そなたは
誉めれば伸びるタイプ
なのかもしれんのう

ハァ
ハァ
実はさ、ちょっと
整体についても
勉強してるんだ
ほら、パトラって
胸とか大っきいから
凝ってそうだな…って
ギュム
ギュム
くくっ
その妙技、もっと
披露してもらおう
かのう？

わわわわっ!?
パ、パトラっ!
これじゃマッサージ
できないって…!
クニュ
ビクッ
ビクッ
クリュッ
ああんっ♪
そなたは本当に
エッチな男
じゃのう
わらわの
乳を鷲掴み
するとは…んんっ
きゃうんっ♪

そ…それじゃ
今日はこっちの
マッサージを
させてもらうよ?
よかろう♪
じっくりと『マッサージ』
するのじゃぞ
じっくりと…な?
ピンッ
モニ
モニ
お…おおうっ
心地良いぞ…っ!
こんなことをされては
マッサージなのに

たかがマッサージなのに…
イってしまうわ…♪
ヌチュ
ビリ…♡
ガチュ
んん…
いつでもイっていいからね…？
奉仕ってこんなに嬉しいことなんだな
相手に喜んでもらえるのって…

あひっ、ふえええっ!!
もっとわらわに奉仕するのじゃそなたの主に…ぃっ！
レロ…
パトラ…ご主人様…っ！ぢゅるるるっ！

ああああっ、アヤトっ！わらわだけの召使い…っ！召使いじゃ！そなただけがわらわの…
クニィ
ビクッ
ビクッ
イ…イクぅっ！召使いに奉仕されて…イクっ、わらわ…イってしまうぅっ！

あひぃ…っ♪
イ…イったばかりだと
いうのに、そんな…
くうううんっ♪
でも…くうんっ
イった身体が解されて
いくようじゃ…
んはあ…っ
気持ち
良かった…？

ハァッ
ん…んうううっ
そんなこと聞くでないわ
こ、心地良かったに
決まっておろう…？

レニュッ
パトラって
弱いところ
ばっかりだよね
乳首もそうだし
ポル●オも
大好きでしょ？
ビンッ
あっ、ううんっ!?
いっ、意地悪
なのじゃあ…っ!!

わらわが怒らないからと調子に乗って…ひいっ！同時に捻るなぁっ!!
コリュッ…
ぉ゛っ♡
ううん、本当に怒ってるならやめるよでもパトラ、怒ってないから…ね？

ふああっ、調子に乗りおってぇ♪　あとでほっぺたが千切れるほど抓ってやるぞよ
それともファルスが再起不能になるほど――
はひっ、はひぃっ気持ちいいのじゃあ！
あっさりと本心を曝け出すとパトラはぎゅっと僕の腕を掴んでくる
それはもっと続けろもっと激しくしろという『命令』だった
仰せのままに…ご主人様♪

今日はパトラを連れて再びラブホテルに来た
そなたのファルスは本当に大きいのうこんなものがわらわの中で…くうんっ♪
そなたもわらわに奉仕せいなにをすべきかはわかるじゃろ？
うんだって僕はキミの召使いだし…っ♪
ハァ
ハァ
おっ、おほぉっ!?そ、それは駄目じゃそんなに吸い付かれたら蕩けてしまうぅ♪
レロ
レロッ
あひぃぃんっ!!女陰の中身が吸い出されてしまうぞよっ♪
ペロッ
くひぃっ！もう駄目じゃ…イってしまうっ
イロッ

召使いに女陰をむしゃぶりつかられてイクぅっ!!んひぃぃぃぃっ!
ビクッ
ビクッ
ビュッ
絶頂後の心地良い疲労感が身体を包む中
パトラはゆらりと身体を起こすとそのまま僕の上にまたがってきた
すりっ
ぶちゅぶちゅっ
んおぉおぉぉっ!!入ってきておる…っ!!そなたのデカファルスっ…
にゅるっ

パトラの中…っ
すごい
締め付け…っ!!
そなたの
ファルス
大きすぎるぅっ
無理矢理
広げられて
しまうわ…!

わらわの中を
ゴリゴリって…
あっ、あひぃっ!
んあああ…っ
な、なんじゃ…?
そなたはなにも
せんのか…?

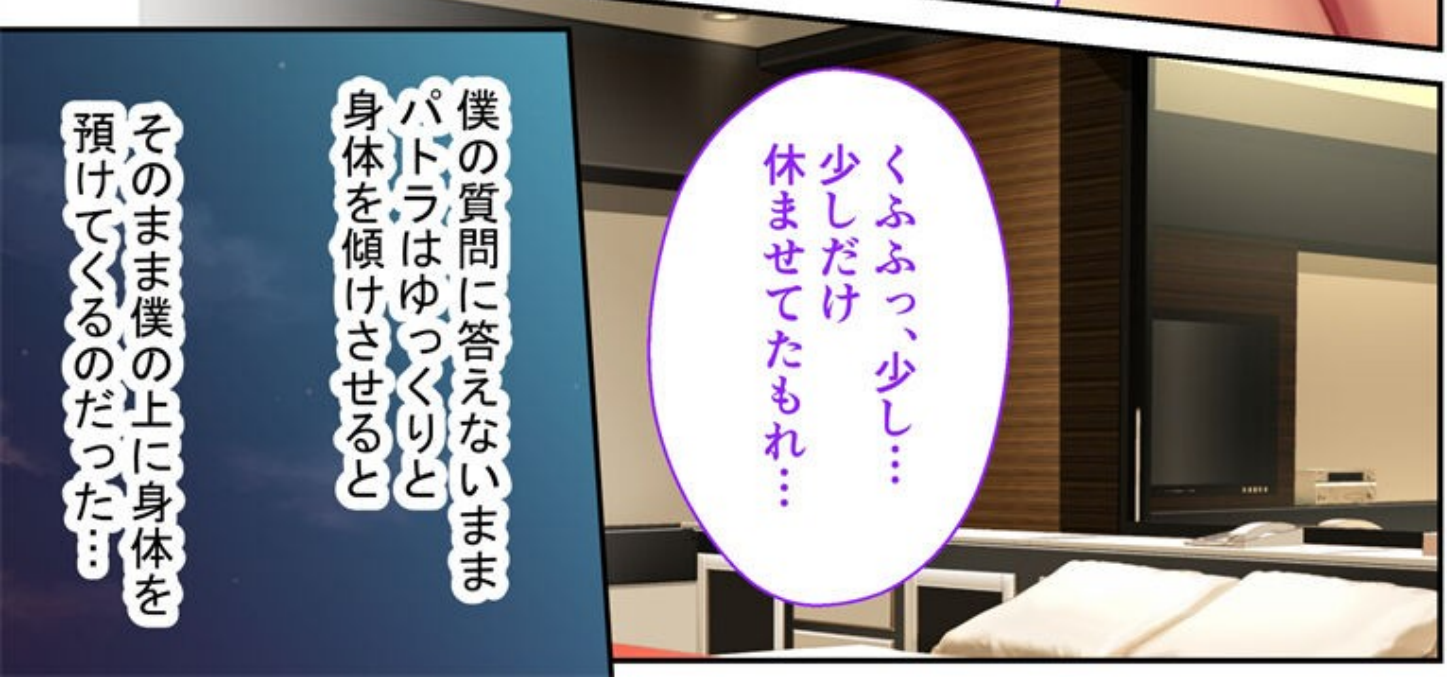
不満げに僕を睨み付けると
パトラは腰の動きを
止めてしまった
わらわが
心地良い
だけでは嫌
なのじゃっ!!
え……っ?

そ、そなたも心地良くなって欲しいのじゃ！
そなたは優しい男じゃから、わらわに合わせているだけなのじゃろうし…
パトラ……
ひぎぃ……っっ!?
まっ、待つのじゃまだ話は終わって…はひぃいぃっ!!
もっ、もう…っまだ話の途中じゃというのにっ
くううっ！気持ちいいよっパトラぁ…!!
そ…っ、そうかっわらわも…あひぃっ！こっ、心地良いぞっ！
ぐちゅっ
ぶぽっ
ぐちゅっ
ぶぽっぶぽっ

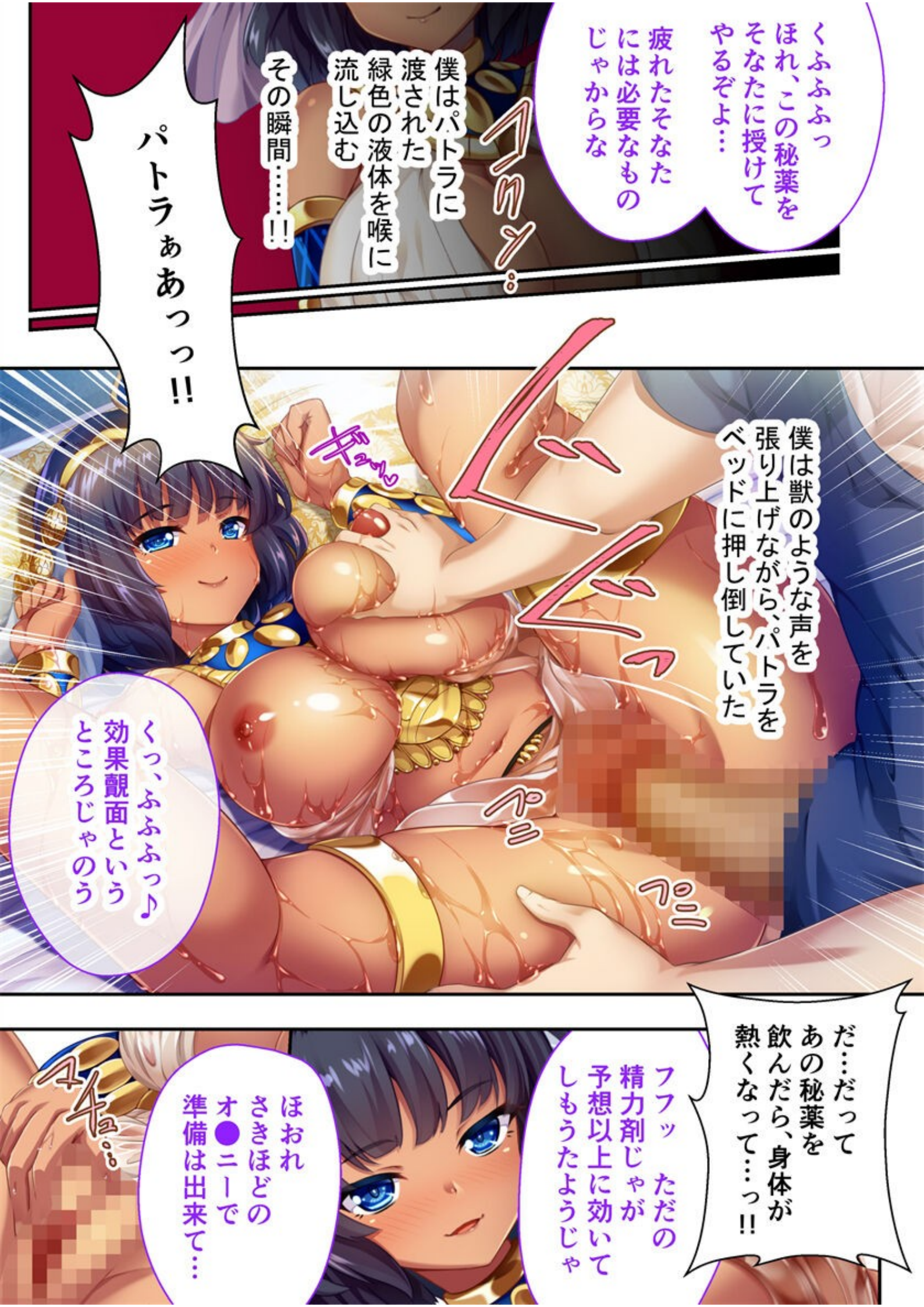
はひ…ぃんっ！
わらわのことっ
もっと可愛がる
のじゃあ♪
それが…っ♪
召使いの
勤めという
ものじゃぞっ！
うんっ！
女王様を
可愛がって
あげるっ!!
ズキッ
ぐぽっ
きゃひぃんっ!!
ぽる●お
きたぁっ♪
ハァ♡
ぐぽっ
わらわっ
イクぅっ!!
ぐぽっ
そなたもイケっ!!
わらわのぽる●おに
あっついザー●ン
ぶっかけるのじゃあ…っ!!
ビクッ
ズビュッ
ズビュッ

はひーっ
はひぃ…っ！
精●でたぷたぷぅ♪
気持ちいいのじゃあ…
ニュポ…
やっぱりふたり
一緒に気持ちいい
のがいいよね
パトラ…？
はひ…っ
そうじゃな…
ふたりで気持ちいい
のが…最高じゃあ…♪
だって…はへぇ…っ
そなたはわらわが
愛した……

…えっ？
パ、パトラっ
今なんて…？
ひいぃん…♪
なんじゃあ…？
またしたい…？


くふふっ、少し…
少しだけ
休ませてたもれ…
僕の質問に答えないまま
パトラはゆっくりと
身体を傾けさせると
そのまま僕の上に身体を
預けてくるのだった…

数日後、僕が帰宅する頃、すでに深夜の1時を大きく回っていた
て……!?
なななな…っ!?
なっ
なにしてるの…!?
み、見ればわかるじゃろオ●ニーじゃよオ●ニー♪
ちょっと気分転換に…な？
いっ、いやいや！先に寝てればいいのに！
そういうわけにもいかんじゃろ♪そなたが勤めに出ているというのに…
なによりもそなたが戻ったら、あひっ褒美をやろうと思っておったしな
ほ
褒美って…？


くふふふっ
ほれ、この秘薬を
そなたに授けて
やるぞよ…
疲れたそなた
には必要なもの
じゃからな
フクン…
僕はパトラに
渡された
緑色の液体を喉に
流し込む
その瞬間……!!
パトラぁあっっ!!
僕は獣のような声を
張り上げながら、パトラを
ベッドに押し倒していた
ズッ
プニ
プニ
くっ、ふふふっ♪
効果覿面という
ところじゃのう
だ…だって
あの秘薬を
飲んだら、身体が
熱くなって…っ!!
フフッ ただの
精力剤じゃが
予想以上に効いて
しもうたようじゃ
ほおれ
さきほどの
オ●ニーで
準備は出来て…
ヌチュ…

んほぉおぉぉっっ!!
ば…馬鹿者っ、まだ話は終わって…ひぐぅっ!!
もうパトラの言葉が終わるのを待っていられなかった
こんなの飲ませるから悪いんだよっ!!
うおおっ!!
すっすまぬのじゃっ!だっ、だからもっとしてぇっ!!
止めなくて…いいのじゃっ!
こうなることはくひーーっ!わかっていたからぁっ!!
わかってた…?
な、なにそれ…っ!?
あっ、気持ちいいっ!!

なんだか大変なことを聞いてしまったような気がしたが
それよりこの肉穴を貪るので忙しかった
ビュビュッ
ひあああああっっ！出てるのじゃっ わらわの子●にザー●ン出てるぅっ！
はあっ、はあっ!! アヤトに壊されてしまうぅっ!!
召使いに女陰を壊されてファルスの虜になってしまう…っ!!
そなたのモノになってしまうぅ！
ほっ
なでっ
ぐぷっ
ズボッ
そなたのものになって二度と離れられなくなってしまうのじゃあ…っ!!
僕のモノになってよっ！ずうっと僕のモノに…っ!!
だっ、駄目じゃっそれだけは…駄目なのじゃっ！

わらわを求める者は全て…
んひいぃっ!!
どうしても駄目なのっ？ キミのために頑張って仕事するっ！ それに召使いとして奉仕だってするのにっ!!
駄目なのじゃ…そなたのためなのじゃ…っ！
ひぃっ イグゥっ！
ぐぽっ
ズッ
ズッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ズッ
ズッ
ぴゅるるるぴゅーっ
おっ、おおお…っっ!!
子●までザー●ンが流れ込んでくるぅ…っ♪
子●っ、ザー●ン漬けにされて…イクうううぅっっ!!

それからの僕は
仕事に奉仕に充実した
毎日を送っていた
…のう、アヤト
そなたは、わらわの
なんなのじゃ？
えっ!?　そっ
それは…その
召使いの
つもりだよ

…実はな、最近は
よく昔のことを
思い出して
しまうのじゃ
……
やっぱり
昔の方が
よかった…？
ふ…　それは
どうじゃろうな
わらわはには
権力闘争に明け
暮れた記憶
しかないからの

そなたはわらわの
伝記を読んでいた
じゃろう？
わらわが頼りにした
男どもは、皆、道半ばに
して死んでいった
ポンペイウス
そしてカエサル
わらわが最期を看取った
アントニウスもな…

わらわは数多の男を
籠絡し死地に追いやった
稀代の悪女に過ぎぬと
いうわけじゃ
いや…わらわは
疫病神かもしれぬ
あの者たちも、わらわと
出会わねば死ぬことも
なかった　そうは
思わぬか？
僕は答えられなかった
確かにそれは歴史の
真実だったからだ

カエサルもポンペイウスも
そして最後にクレオパトラが
頼ったアントニウスも……
ドクン
…ああ、そうだ
彼女の死の報告を受けた時
彼は全てを諦めた

しかし彼女に裏切られた
ことは、戦に敗れたこと
以上に彼の心を抉った
ドクン

冷たく堅い刃を胸に突き通し
せめて魂となって再び
相まみえようと…

……つっ!?
なんだこれ……
これは誰の記憶……

ドクン…

いつだったかも
僕はこんな顔を
見たような気がする
遠い遠い過去に……

ドクン…

……おい
どうしたのじゃ!?
アヤト!
アヤト!!

気がつくと、パトラの
怯えたような顔が
目の前にあった

う…ううん
なんでもないんだ
心配させてごめんね

それと…パトラは
疫病神なんかじゃない
それだけは僕が
保証するよ

…そうか

そなたは本当に
良く似ているのう
姿形ではなく
その心が…

翌朝
パトラは朝食の時もずっと上の空だったー！

パトラが疫病神だなんて…歴史的にはそうかもしれないけど

それはただの結果じゃないか……

せっかくの土曜日だしさちょっと散歩にでも行こうよ！

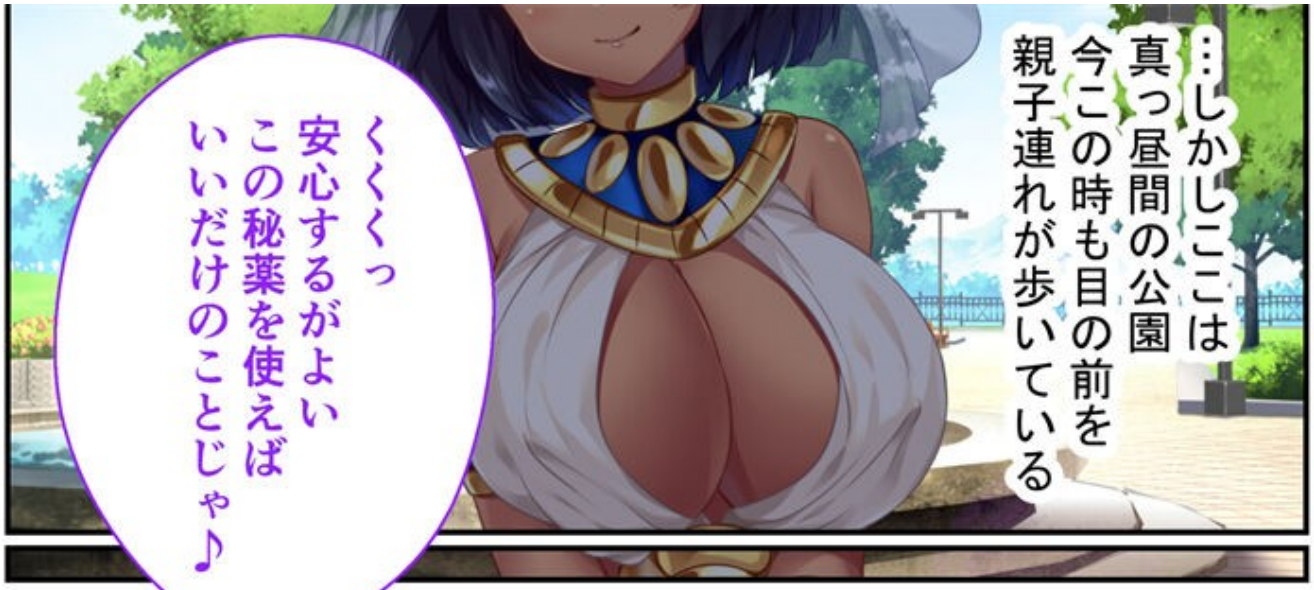
僕は渋るパトラの手を掴むと、少々強引に外に連れ出すことにした

手間を掛けさせたな甘いコーヒーは大好物じゃ

どう？少しは元気が出てきた？

ふふっそうかもしれんなそなたのぎこちない気遣いのお陰じゃ

…そうじゃたまには趣向を変え衆人環視の中でしてみんか？


…しかしここは
真っ昼間の公園
今この時も目の前を
親子連れが歩いている
くくくっ
安心するがよい
この秘薬を使えば
いいだけのことじゃ♪

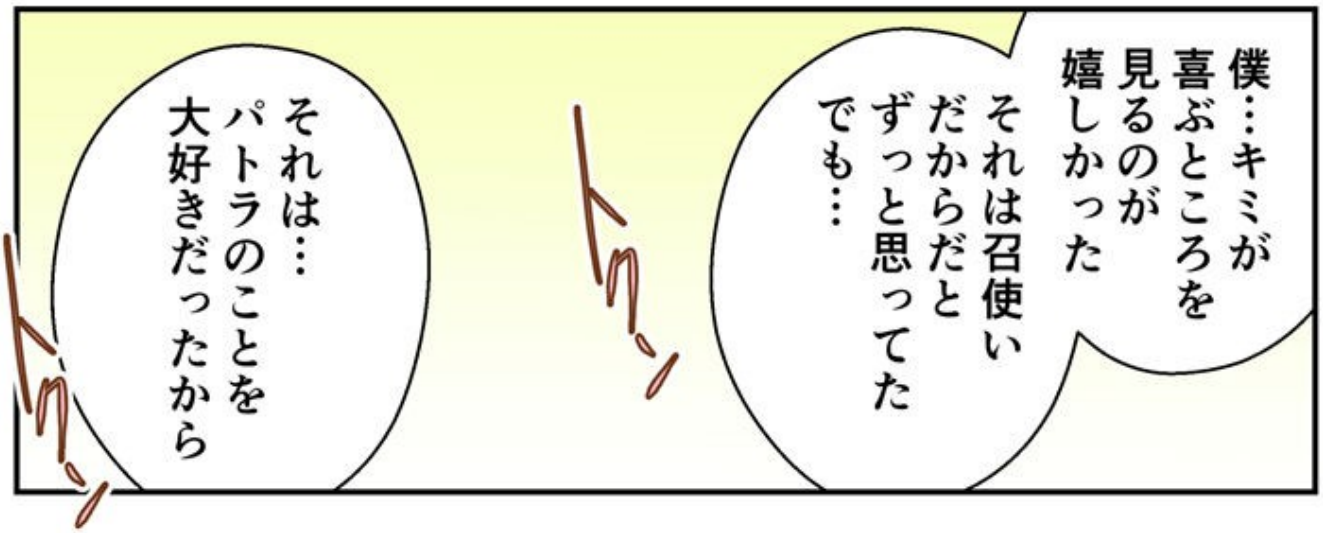
きゃうっ♪
人前で
まぐわうのが
これほど
とは…
きゃっ！
なにを
フラフラして
おるんじゃっ！
わらわはぽる●おの
方が好きなのにっ
もっと奥までガンガン
するのじゃあっ！
本当は他の場所にも
ご奉仕したい
ところだけど
身体を
支えるので精一杯だ
それればっかりだと
飽きちゃうってば
ほらっ、こっちだって
気持ちいいでしょ？
ぶぽっ
ぶぽっ
…ねえ、パトラ
追加の腕が生える
秘薬とか…
あるわけないよね？

そなたのことじゃ、なにを考えていたなどお見通しじゃぞ
スッ
ギュッ
腕を増やしてわらわの乳首でも弄りたかったのじゃろ？この変態めっ♪
パトラはからかうように笑うと自ら乳首に指を伸ばした
キュウゥゥ
きゃううんっ♪こうしたかったのか？
ギュッ
乳首を捻り上げていやらしい声を上げさせたかったのじゃろっ!?
コリッ
ならばわらわがおのれでやってやるわ♪
スッ
ギュッ
乳首ぃっ、ぎゅーってしたら…あひんっ♪気持ちいいのじゃあっ♪
うぅっ、僕が奉仕したかったのにぃ…！いいよっ、こっちの方に集中するからっ!!

…どういうわけか
子供たちは全く僕たちに
興味を示していない
それどころか、道行く人々も
噴水の中の情事に
目を向けようともしなかった
あひぃっ！
そこっ、そこ
好き
なのじゃあっ！
エロ汁が
出ちゃう…っ!!
じゅっ
ぐちゅっ
ズズッ
ズズッ
ズズッ
ズズッ
くくっ、さきほどの
秘薬はのう…他者から
存在を隠すという
効果があるのじゃ
…なら
安心したよ
露出プレイも
好きなんて
少しビックリ
したけど
でも僕は
エッチで変態な
パトラが好きだよ

そんなキミに奉仕できるのが嬉しいって言うか…
ふふっ可愛いことを言いおって♪
ほれ、ぽる●おまでねじ込んでわらわをイカせるのじゃっ!!
ハァ
ハァ
ズズッ
ビュビュッ
ビュビュッ
ひぃぃぃんっ♪召使いに乱暴にされてるところっ見られてるぅっ♪
ビクッ
ビクッ
イクぅっ!!見られながらっ…イグぅっ!!はあああああっ!!

のう
そなたは
わらわの召使い
じゃったな
本当に…
それだけ
なのか？


僕…キミが
喜ぶところを
見るのが
嬉しかった
それは召使い
だからだと
ずっと思ってた
でも…
それは…
パトラのことを
大好きだったから

愛していたからだよ
召使いのくせに…
そんなことを考えてた
…言い訳はいらぬ
そなたの本心が
聞けただけでわらわは
満足したからのう
…わらわは
そなたに
近づき過ぎて
しまったようじゃ

これ以上わらわと
共にいては
そなたにも不幸が
訪れるに違いない
ドクン…
…また
疫病神のことを
言ってるの？
わらわは
もう男たちの
死を見届けるのが
嫌なのじゃ

あんな哀しみは
あのお方
だけでい……
ギュッ
…あのお方って
誰のことなの？
カエサルじゃ
ないよね

ふふふ…やはり
あのお方とそなたは
よく似ているのう
キミはその男に
どんな感情を
抱いていたの？

カエサル
たちと同じく
おのれの権勢を
守るための道具
だったのかい？
ドクン…
心、いや魂とでも
言うべきか…
まるでそなたは…

初めはそうじゃった
じゃがな…あのお方は
わらわを本当に
愛してくれていたのじゃ

もっとも
それを知ったのは
その死の間際
だったがのう…

キミは…
その人のこと
少しでも
愛していた…？

わからぬ…
だがわらわが秘薬を
飲んだのはその後の
ことじゃ

もしかすると
来世に期待していたの
かもしれぬ
再び会えることを…

わらわが欲していた
絶対的栄華…
そんなものにはなんの
価値もなかった

ふふ…わらわが
真に
欲していたのは…

…愛だよ
僕が欲しかった…
キミに求めていたのは
たったひとつの…

そうじゃ
そなた…
マルクス・
アントニウス様に
求めていたのは…
愛だったのじゃ
…そう、この出会いは
偶然じゃなかったんだ
二千年の長い長い時を
渡り、再会するために…

…アントニウス様
わらわは貴方を裏切った
わけではないのじゃ
わらわは…
ドクン
トクン
このわらわを
許して
くれるのか？

もういいよ、パトラ
キミは守らなければ
ならないものがあった
だから謝らないで…ね？
う…っ、ううっ
アントニウス…
いや、アヤト様
えぇ。。。

様付けは
くすぐったいよ
いつもどおり
綾人でいいから
この時代では昔ほどの
栄華は与えられない
けどさ、代わりに…

わかって
おるぞよ♪
栄華などいらぬ

わらわが
欲しいのは…

あれから
数年後

まったく、こんな
だらしない
おっぱいに
なっちゃって！

いくら子供三人
生んだからって
これはちょっと
だらしなさすぎっ！

はおおんっ♪
だってだってぇっ
そなたがいつも好き
放題するからあっ

きゅうぅ

わらわの乳が
だらしなくなったのも
全部アヤトのせい
なのじゃあっ♪

ぐぬぬっ　なんでも
僕のせいにしてっ！
いくら僕より稼ぎが
いいからって…

んふう…っ♪
な…なんじゃ、男の
嫉妬は見苦しいぞよ♪

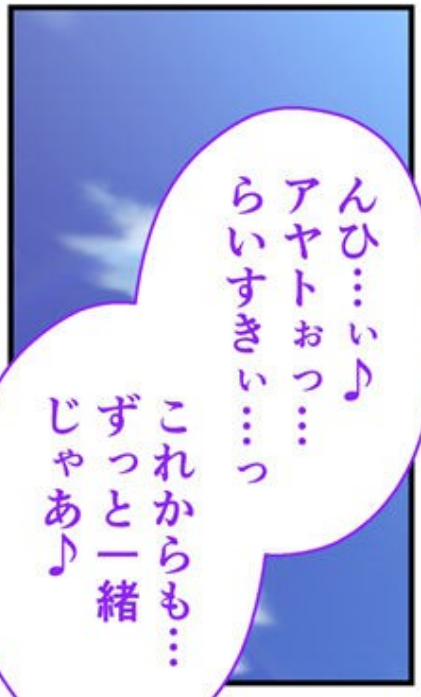
メヂュッ
ギュムッ
メヂュッ
メヂュッ

ちなみに彼女はモデル活動をしているさすがに妊娠中の今は休職中だけど…
ズズッ
ふふふっ♪わらわはのう早く邸宅を構えたいのじゃ
ズズッ
かのアレクサンドリアの宮殿も霞むほどの大邸宅をな♪
おお、そうじゃ！わらわとアヤトの血族でこの国を埋め尽くしてやるとするかのう！
ぎゅぷっ
ズズッ
あは…あははっ♪それがパトラの新しい栄華ってところかな？
ズズッ
うむっ♪ならばもっともっと子作りせねばな！休んではおられぬぞ！
ぎゅぷ
ぎゅぷ
ズズッ
でもさ、そんなに身体が持つかな？頑張るつもりだけど
なあに、そこは秘薬でどうとでもなるわ

んんっ!!　やっぱり秘薬って万能すぎるなあふふっ、それはそれで助かるけど！
あひぃっ！まだ話の途中ではないかぁっ♪
だってパトラの中早くしてって泣いてるんだもの
わ、わかった…！だったら僕も…!!
んくうっ!!アヤト…っわらわ…イきそうじゃっ！
んひぃ!!もおっ、駄目ぇっ!!死ぬぅっ、おっおおお…っっ!!
ズンッ
たぷっ
コリッ
コリッ
たぷっ
ぢゅぷっ

ううっ…
パトラ…っ、これで
うあああああっ!!
ビクッ
はひゃぁぁーーっ!!
イグぅぅぅーっ!!
ビクッ
ズビュッ♡
ズビュッ♡
ネバッ♡
ネバッ♡
キュウゥ♡
プシッ

はへぇ……
ザー●ンいっぱいでぇっ
子●がビクビクしちゃっ
てるのじゃあ♪
ハァ♡
ハァ♡
あはは…
気持ち
良かったって
ことだね


んひ…ぃ♪
アヤトぉっ…
らいすきぃ…っ
これからも…
ずっと一緒
じゃあ♪

終

©ATELIER G/H